

# アクセシビリティと ユーザビリティの両立

多様な利用者に配慮したWebサイトのあり方を考えるにあたって  
アクセシビリティ(だれにでも使えること)と、ユーザビリティ(使いやすいこと)を  
両立させたWebサイト作成には、さらにいくつかのテクニックが必要である。  
アクセシブルではあってもユーザブルとはいえないサイトの問題点について  
視覚障害者の方々の立場になって考えてみよう。

## 関根千佳 =文

ユーティット 代表取締役  
情報のユニバーサルデザイン研究所

## 音声ブラウザで聞きやすいか

ALT属性(画面代替テキスト)さえあれば、アクセシビリティ  
のチェッカーツールはすぐOKを出してしまうが、実際には音声  
ブラウザを利用する人にはかなり聞きにくいサイトもある。

静岡県岡部町のサイトを例にあげて説明しよう。ここは、  
見やすさやALT属性のつけ方に関しては、かなり配慮されて  
いる。また1ページだけ音声ブラウザで聞いてもちゃんと  
聴こえる。だが、視覚障害者にとっては、かなりフラスト  
レーションがたまるサイトであろう。原因は、各ページ左側  
に集中して置いてある目次リンクである。これは、音声ブ  
ラウザで必ず毎回読み上げられるのだ。聞いているうちに、  
多くのユーザーがこれをスキップしたいと考えるだろう。

これをカバーするためには、透過GIFで小さなアイコン  
を上方に置き「目次のリンクリストをスキップ」とALT属性  
を入れてリンクをさせる方法もある。海外の公的サイトでは、  
このような問題点に留意して、リンクリストを右側に置  
くものも存在する。この場合でも、リンクリストが右(下)  
側にあると知らせるほうが親切である。

いずれにせよ、画面上にはあまり膨大な数のリンクリス  
トを置くのはわかりにくいし、避けたほうがよい。これは

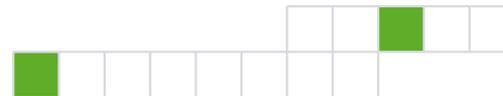


岡部町のWebサイト

音声ブラウザユーザーでなくとも同様である。最小限に押  
さえるよう努力したいものである。

## 時間や日付などの読み上げ方に 注意しているか

音声ブラウザできちんと読めないものの筆頭に、時間や  
日付の問題がある。「10:15」はホームページリーダーでは



浜松だいすきネット

「じゅうのいちご」と読んでしまうし「12/05」は「ごぶんのじゅうに」と読むのだ。よほど気をつけないとこれが時間や日付を示すデータであるということがわからない。

静岡ホームページグランプリで一位になった浜松だいすきネットは、アクセシビリティやユーザビリティによく配慮されたサイトではあったが、このようなALT属性の付け方には、もう一歩、踏み込んだ配慮があるとなおよかった。例えば「冬のかんざんじあったか満福コース」の案内を見てみる。

フラワーパークに10:30から12:00までいる予定となっているのだが、場所と時間を示すテーブルに仕切が入っているため、よほど注意して聞かないと、どこに何時まで滞在するのがわからない。これを防ぐには仕切を外すか、時間のALT属性をなくし、場所を示すALT属性の中にいっしょに入れるとよい。また、時間のALT属性表記も「10時15分から12時まで」などと日本語でわかりやすいものにしておくと、聞いたときにはっきり理解できるだろう。

## グラフィックスアイコンの表示はALT属性の内容とほぼ同一か

読者にわかりやすいようにと情報量を増やすつもりで、グラフィックスアイコンに付けるALT属性の中味を、画像上のテキストから大幅に変えてしまっているサイトもある。だがこれは、音声ブラウザ利用者にとっては、実はたいへん困るのである。利用者は、一回ざっとナメ聞きしたうえでキーワードとして検索をかけることがよくある。どこ

かにあったリンクをもう一回聞くよりも、検索するほうが早いからである。

このとき、ALT属性で示されたことがサイト上に存在すると信じ込んで、検索をかける。だが、何も出てこない。かくして、見てもらいたかったリンクにはユーザーはアクセスできなくなる。写真などを詳細にALT属性で説明することは、読者にとってはユーザビリティを上げることにつながる場合もあるが、グラフィックのリンクボタンなどはできればほぼ同じ内容のALTテキストを付けることが望ましいだろう。

例えば、水戸市のWebサイトはかつて縦書きで有名(?)だったところだが、今は非常に見やすくなっている。だが「水戸の味散歩」と題されたリンクには、実は「水戸グルメ」というALT属性が入っている。

音声ブラウザの利用者がこれを聞いて「グルメ」で検索してみても、残念ながらそのページへはたどり着けない。このサイトのように、リンクリストが少ない場合は大きな問題にはならないが、多量の場合には目的へ到達できない率が増えると思われる。ほんのわずかの注意が、利用者の満足度を高めることにつながるのである。

以上、ALT属性の付け方を中心に見てきた。かつては、ALT属性をきちんと付けることは携帯電話やPDAで見てもわかるというメリットがあると説明されてきたが、今では、検索サイトがALT属性にもサーチをかけるので、検索で上位に来やすいというメリットがある。企業も自治体も、的確なALT属性を付けることが、これからは良識ではなく常識になっていくだろう。



水戸市のWebサイト